



神奈川県立鶴見支援学校
地域連携グループ・進路チーム NO. 6
令和6年 2月28日発行

2月も早いもので終わりを迎えようとしています。今後も子供たちが学び・成長する中で、自分の夢や目標に向かって一歩ずつ進んでいけるよう、ご家庭と連携を深めていきたいと思えます。何かご質問やご相談がありましたら、お気軽に進路担当にお知らせください。

それでは、今回は以下の内容で進路情報をお伝えさせていただきます。



分教室「インターンシップ」

職業の授業の一環として、前期に2年生、後期は1年生がインターンシップを行いました。企業就労を目指す生徒も在籍しており、1年生の時から様々な職種を知ることの大切さや校外での職業体験を身に着けることで、現場実習での必要なスキルを学ぶのもねらいとして実施しました。今年度から半日の活動ではなく、9:00~15:00までの実習という形で、もみの樹（老人ホーム）、おうちコープ（食品配送）、ユーコープ（スーパー）45rpm（アパレル関係）、サムズアップ（午前のみ、福祉事業所）で行いました。インターンシップの経験を通して、生徒一人ひとりがステップアップできたと思えます。

高等部2年「福祉事業所体験」

高等部2年生は、1月から2月の間で福祉事業所体験を行っています。実際に学校を離れ各事業所に行って1日通して活動を体験します。これまでの校内実習とは異なり、初めての場所や環境、人の中で活動を経験します。普段の学校とは違い、知っている仲間や教師がいない中での活動となるため、不安や緊張もあるかと思いますが、卒業後を見据え、自分にあった作業内容や過ごし方を考える機会と捉え、頑張ってもらいたいと思えます。



新規事業所紹介

名称 : ONE GAME一ワンゲームー 就労継続支援B型事業所
所在 : 川崎市川崎区貝塚1丁目3-17
作業内容 : 動画編集、イベントの準備、自主製品作製（木製品・金製品） 等

名称 : V i v o（ヴィーヴォ） 生活介護事業所
所在 : 川崎市中原区新城1-10-13 サンモールG・T ZERO1・2F
作業内容 : 軽作業（石鹸づくりなど）、学習、リハビリ 等

名称 : H a r u（ハル） 就労継続支援A型事業所
所在 : 横浜市神奈川区三ツ沢上町1-13 GRANDE三ツ沢201
作業内容 : 弁当の盛り付け作業、データ入力、チラシ折り、商品作成 等

小学部「保護者向け進路学習会」

1月29日(月)に小学部保護者向け進路学習会が開催されました。『卒業後に向けて積み上げておくべきこと ～企業の視点から～』というテーマで、日総びゅあ株式会社の方にお話をいただきました。保護者の方からは、「小学生からの基本の生活ベースを安定させることの大切さを感じた」、「自宅での経験の重要性を考えた」、「あきらめてしまい、できないことが当たり前と思う部分を見直したい」、「自宅での自立に向けた仕組みづくりを考えていきたい」といった感想が多数寄せられました。学校卒業後はどの方も“学生・子ども”ではなく、“社会人”として生きていきます。その時の土台となる、適切な基本的生活習慣を早期段階から積み上げ、身につけていくことの大切さを感じました。また、“どんなこともやらせるのが可哀そうではなく、やらせないことが可哀そう”といったお話もありました。できないだろうと決めつけるのではなく、まずはやってみるものの大切さも感じました。できなくてもやったことがあるか否かの経験の差は、これからの人生に大きく影響してきます。家庭生活や学校生活の中で、身の回りのことの一部からでも“自分でやる”ことをひとつずつ積み上げていけることを願っています。



中学部「保護者向け進路学習会」

1月29日(月)に中学部保護者向け進路学習会が開催されました。『移動支援の制度について』をテーマに港北区移動情報センターの方に「自立を目指したサービス、制度の使い方」についてお話をいただきました。ガイドヘルパーとガイドボランティアの制度や手続きの違い、利用に向けたまた利用後の段階的な支援方法、利用者の成長など、事例を交えながら説明いただき、保護者の方々も「まずは相談すること」「目的が大切」「日々の慣れや積み重ねが大事なことを改めて認識した」など感じたことも多く、質問が活発になされる学習会となりました。



講師の方より、学習会以降、保護者の方々より声をかけてもらうことが増えたとのお話がありました。質問に対して、行政区分的な分別はあるものの、制度や手続きなどについてなど可能な限りでお伝えしていますと仰っていました。

支援機関同様、さまざまな制度も「知ること」、利用にあたっては「将来的なビジョンをもつこと」により「相談してみること」が大切だと感じることができました。

高等部「保護者向け進路学習会」

12月15日(金)に高等部保護者向け進路学習会を開催しました。「卒業後の相談支援」をテーマに、鶴見区基幹相談支援センターと鶴見区障害者後見的支援室りんくるつるみの所員さんにお越しいたいただき、お話を伺いました。

それぞれの機関の仕組みや役割の違い、手続きの方法などの説明、これまで支援してきた事例を通じた支援プロセスや結果などを説明していただきました。

保護者の方々の参加理由として、「卒業後の生活が不安で」「卒業後の支援機関を知りたくて」「名前は聞いたことがあるけれど、具体的には知らなくて」といったことが多く寄せられましたが、学習会を通して「支援制度があることを知れてよかった」「事例があってイメージしやすかった」「漠然とした不安でも相談してよいことが分かった」「すぐに登録を考えたい」といった感想があがりました。

今回は、鶴見区の支援機関にお話をいただきましたが、横浜市内各区に基幹相談支援センターと後見的支援室は設置されています。まずは知っておくことが大切だと思いますので、横浜市のウェブサイト(相談支援事業 横浜市 (yokohama.lg.jp))や進路担当に問い合わせをお願いします。

